

高岡熱中寺子屋 第6期授業予定

授業の内容や講師が変更する場合があります。予めご了承ください。

久米信行 (道徳)



竹村譲 (用務員)



4/6 「地域を味方につける経営」
13:00 魅力的な地元コンテンツを見つけて活用する」
16:45

「ツバメノート × 地方大学から見る創ること」

久米繊維工業株式会社取締役相談役 1963年東京生まれ。慶応大経済学部卒。国産Tシャツ製造業三代目。地元墨田区の商工会議所、観光協会、オーケストラ等の役員として観光地域づくりと文化振興に邁進。

オフィス・コロボックル創設メンバー ICT企業の顧問職やプロダクト・プロデューサーとして各種商品開発を行う一方、商用WEBサイト上で「T教授の戦略的衝動買い」や「本日の一品」等の連載コラムを持つ。

伊部菊雄 (理科)



グループワーク

4/20 「G-SHOCK 開発ストーリーと新たな価値創造」
13:00
16:45

「皆で地方の会社の将来を考えてみましょう。(仮)」

カシオ計算機アドバイザー・エンジニア 1976年カシオ計算機入社。時計設計部に所属し、デジタル時計の構造開発を担当。現在は時計の企画業務を行いながら「Father Of G-SHOCK」として世界各国でブランドの世界観を広める活動を行っている。

ビジネスで一番大切なことは、方針と戦略です。方針、戦略と言葉自体は難しいですが、方針=目指す姿 戦略=その為は何をするか?と置き換えると、考えやすくなります。伊部先生と一緒にグループごとに考えて発表します。

樽谷雅好 (社会)



特別授業

4/30 「高岡御車山祭の、真髄を窺う」
15:00
16:30

「400年の歴史を伝える高岡御車山祭スペクタクルツアー！」

高岡市 郷土史家 1949年高岡市生まれ。元鮮魚卸商 獅子舞などの祭礼、民話、伝承など幅広く民俗学を研究。伝承口演、郷土史講釈、文筆などに多忙を極める。

樽谷先生の解説を聴きながら御車山祭りのツアーを体験し、高岡の隠れた魅力を掘り起こす。4月30日、5月1日の二日間の特別プログラム。詳細は事前の授業にてお知らせします。

川村晶子 (国語)



大久保昇 (理科)



5/18 「AI時代、私らしい働き方を考える」
13:00
16:45

「変革時代を迎えた日本の社会や企業と学校教育 - 理科の実験観察を通じて知る、見方と資質の育成とは -」

富士通株式会社、高知大学地域連携センター客員准教授 子育てをしながら仕事を続ける中で「企業にも行政にも女性自立のための生活者視点が足りない。」と感じNPOを立ち上げる。“私おこし”を合い言葉に、女性の起業や再就職を支援。

株式会社内田洋行代表取締役 熱中学校では、小学生が二番目に好きな教科である理科の担当を希望。楽しく体験しながら考える実験観察をして見ましょう。

鹿熊勤 (理科)



小竹茂樹 (図工)



6/1 「里山の資源と日本の伝統的な暮らし」
13:00
16:45

「企業の記憶」

ジャーナリストライター 1960年茨城県生まれ、野遊びと教育、一次産業、物づくり、地域活性化など、自然を軸にした視点で取材を続ける。情報ラボ『緑蔭風車』代表。立教大学・同大学院兼任講師。著書に『糧は野に在り』『葉っぱで2億円稼ぐおばあちゃんたち』『鍛冶屋の教え』など。

オダケホーム株式会社社長 不動産業の世話役を務める。父より受け継いだ製材業から転身し、近年では瑞龍寺門前に位置するレストランやすらぎ庵を経営するなど、安心の家づくりから不動産業、更には観光も視野に入れた事業を展開し、高岡市の活性化に尽力。

椎根基善・椎根佐綾 (図画工作)



四津谷道宏 (道徳)



6/15 「ゲーム作家になろう！」
13:00
16:45

「心のバリヤフリー」

Indie Game Developer / ゲーム作家 プログラマーのモトとデザイナーのサーヤによるインディーゲームデベロッパー。ゲーム「ねえ AI、本当の事がしりたい」が Google Indie Games Festival JP 2018 TOP10 受賞。手描きのアートワークで、やさしい気持ちになれる作品を開発している。

瑞龍寺住職 1969年富山県高岡市生まれ。駒澤大学仏教学部を卒業し、大本山総持寺で修行。平成25年に31世瑞龍寺住職就任。瑞龍寺でコンサートやライトアップなどを企画し、ボランティア活動も積極的に行い、開かれたお寺の形を模索中。北國(富山)新聞で「大和尚の独り言」を執筆中。

神林サリー (英語)



金森正晃 (放送)



7/6 「モチ英語講座 高岡編」
13:00
16:45

「地域を磨く革新的地域映画」

ally's English Lesson 主催 英会話インストラクター、英語学習本作家 大学の専門は英米文学。バックパッカーで放浪した経験や、オーストラリアでの就労経験、大手英会話学校の講師、外資系企業勤務の経験を活かしてマンツーマンレッスン、企業研修や講演会、セミナー開催に情熱を燃やす日々。

高岡市出身、故郷の伝統産業である鋳物をテーマにした映画「デンサン」を企画、西野亮廣を主演に迎え、監督を担当した。ニューヨーク(NY)ディスカバリー映画祭、パリ(ジャポニスム2018)など海外での上映実績も多く、クールジャパンを牽引するコンテンツメーカーとして期待されている。